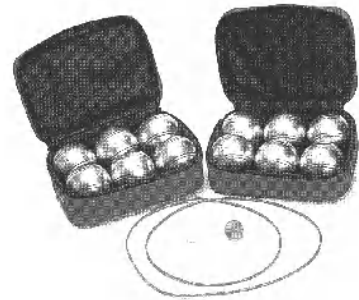


ペタンク

人数 1人対1人（シングルス）
2人対2人（ダブルス）
3人対3人（トリプルス）

木製の小さなビュット（目標球）に、金属製のボールを投げ合い、より近づけること によって得点を競うゲームです。ルールは単純ですが、ゲームの読みには経験が必要とします。実力的に開きがあっても、作戦ミスやゲームの流れで思わぬ不覚を取ることもあります。また地面のコンディションやゲームの展開などにより、投球方法を変える必要があり技術的な奥行きもあります。



◎用具

- ・ボール…金属製（鋼鉄やステンレス）直径 7.05 cm～8 cm、重さ 650g～800g。
- ・ビュット…目標球のことをいう。木製、直径 25 mm～35 mm、重さの規定はない。
- ・メジャー…2 m程度のものがよい。

◎場所・コート

- ・幅 4 m×長さ 15 m以上であればよい。投球サークルは、直径 35 cm～50 cm

◎ゲームの進め方

(1)チーム編成

- ・3人対3人（トリプルス）で行い、各プレイヤーの持ちボールは2個とする。2人対2人（ダブルス）、1人対1人（シングルス）で行うこともできる。

(2)ビュットを投げる

- ・じゃんけんなどでビュットを投げる権利を決める。権利を得たチームが投球サークルより 6 m～10 mの範囲内にビュットを投げる。（範囲内にビュットが止まらないときは、3回まで投げ直すことができる。）

(3)第1投目

- ・初めにビュットを投げる権利を得たチームが、ボールをできるだけビュットの近くに止まるように投げる。

(4)第2投目

- ・次に、もう一方のチームが同様に投げる。

(5)第3投目以降

- ・両チームの一番近いボールを比べて、負けている（ビュットから遠い）チームが、相手のボールより近づくまで投げる。
- ・ボールが相手チームより近づいた時に、投げるチームが変わる。
- ・仮に、一方のチームが投げ終わり、もう一方のチームにボールが残っている場合は、そのボールも得点をさらに稼ぐために投げる。

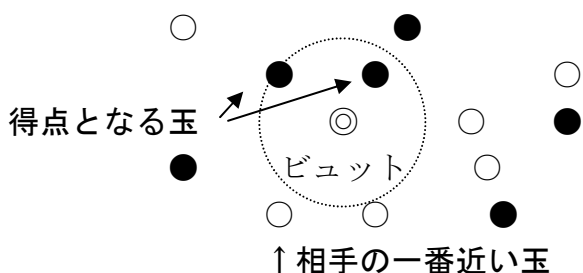
(6)セット終了

- ・両チームとも、ボールを全部投げ終わった時点でセット（メヌ）が終了し得点を数える。

(7)得点の数え方

- ・得点は、両チームのビュットから最も近いボール（ベストボール）の確認から始める。相手チームのベストボールより味方のチームのボールがいくつ近いか、その数が得点になる。得点はいつも片方にしかなく、一方はゼロとなる。

得点の数え方の例



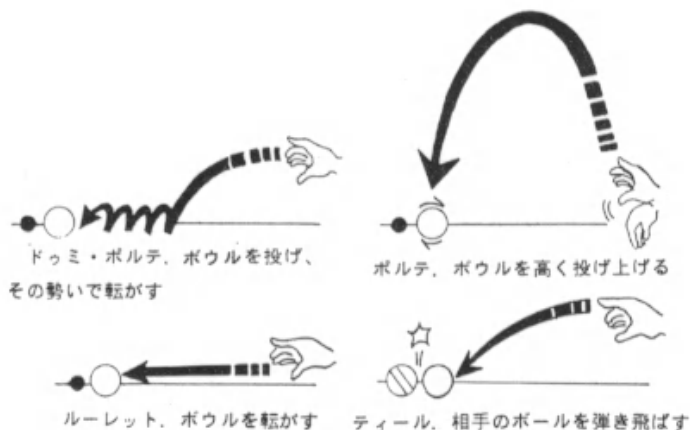
左の場合、ビュットに近いのは黒なので、黒チームが勝ち。得点は、相手（白）の一番近い玉より内側に2個あるので、2点となる。

- (8)次のメヌはビュットのあった位置にサークルを置き、ゲームを始める。同様にメヌを繰り返し、13点先にとったチームが勝ちとなる。

◎ルール

- (1)ボールを投げるときは、サークルの線を踏んだり、ボールが地上に落ちる前に足を上げたりしてはいけない。
- (2)ボールを投げる順番は自由である。(連続して投げてよい。)
- (3)ビュットがボールに押し出されて、コートの外に出た場合
 - ①一方のチームにのみ残り球があれば、その個数が得点となる。
 - ②両チームとも持ち球があるとき、またはないときはそのメヌをやり直す。
- (4)ビュットまでの距離が相手チームと同距離になった場合は、追いついたチームがもう1球投げる。状況が変わらなければ、次はもう一方のチームが投げる。

◎ボールの握り方は、手の甲を上にし、指をボールにそわせて軽く曲げて握る方法が一般的です。また、ボールの投げ方には右図のような4つの投げ方があり、状況により使い分けるとよいでしょう。



問い合わせ先

日本ペタンク協会 TEL 03-5800-1700

<http://www.znet.or.jp/petanque/>